

Coming soon

準備中



生きづらさを抱えた人のためのボランティアサロン『じよいなす』はじまります

生きづらさを抱えた人のための社会参加の場として、ボランティアサロン『じよいなす』がスタートします。昨年開催した「現代課題を学ぶ講座」の受講者からサポーターを募集。社協職員とともに、生きづらさを抱えた方と一緒に軽作業等の活動を行うボランティア体験の場となります。2月(予定)には企画ミーティングを行い、スタートに向けて準備中です！

※『じよいなす』：“join”…つなぐ、“join us”…参加する

令和4年度 ボランティア保険

ボランティア活動中におこる事故、地域福祉活動や、ボランティア活動の一環として行う各種行事における様々な事故に対応する保険です。

令和4年3月1日(火)より社会福祉協議会の窓口で受付しています。

【ボランティア活動保険】

ご加入プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	【新設】 特定感染症重点プラン
年間保険料	350円	500円	550円

- 従来のプランに加えて「**特定感染症重点プラン**」が**新設**されます。「基本プラン」「天災・地震補償プラン」では、補償開始日から10日以内に発症した新型コロナウイルス感染症などの特定感染症については補償の対象となりませんが、「**特定感染症重点プラン**」では、新規加入の場合でも補償開始日から補償の対象となります。
- 【ボランティア行事用保険】については、「新型コロナウイルス感染症」に対する補償はありません。

社会福祉法人
新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会ホームページ

社会福祉法人
新潟市社会福祉協議会
西区社会福祉協議会 facebookページ

◎ 編集後記 ◎

様々な生活の変化に戸惑った2年間でした。変化を受け入れつつ今できることに前向きに取り組んでいる方々から元気をいただいた第18号となりました。

◎ 発行 ◎

新潟市西区社会福祉協議会
西区ボランティア・市民活動センター
新潟市西区寺尾東3-14-41
健康センター棟 1階
TEL:025-211-1630 / FAX:025-211-1631

ぼらちゃん 第18号



ボランティア登録団体紹介 「新潟大学工作戦隊 ハグルマン」

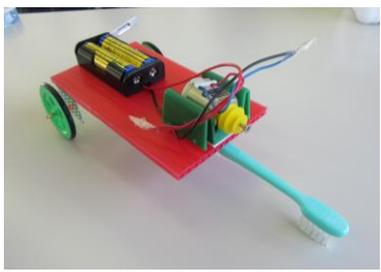
『新潟大学工作戦隊 ハグルマン』は、新潟大学工学部の教員・技術指導者を中心に15年前に結成された団体です。

新潟市内の小学校や公民館に出向き、小学生を対象に“ものづくり”の体験を提供されています。

その功績から、令和3年度新潟市社会福祉功労者表彰を受けられました。



代表 田村 武夫 さん



ユニークな形の歯ブラシカー
どうやって動くのかな??

体験講座は、教材費も含めて無料で開催。子どもたちに“ものづくり”の楽しさを伝え、将来“ものづくり”に携わる人材が育ってくれることを願って活動されています。

子どもたちには、『うまくいなくて悔しい』という経験も含めてどんどん失敗して欲しいという思いから、子どもの自由な発想を否定せず、自分で考えるように声掛けをされているそうです。

体験では、歯ブラシを使って走る車を製作。同じ材料を使っても、車が走る速さは人それぞれです。「子どもたちには情報を与えず、どうしたら速く走らせることができるのかを考えてもらいたい。想像することから創造する力を養ってもらいたい。」と、田村さん。自分で考え、楽しく試行錯誤できる機会を提供してくださっています。



みんなで競争！
どうしたらもっと速くなるかな？

伝統を受け継いで、今もっと輝かせるために！

新潟大学 児童文化研究部 (通称どーけん)

創設が不明なほど歴史の深い「どーけん」。児童館や公民館等で未就学児や小学校低・中学年の子どもたちに、劇や遊び歌などを披露しています。週に3日は演劇練習に励み、どうしたらもっと子どもたちに楽しんでもらえるかを探求。部員は、1年生5名、2年生4名の合計9名。教育学部、人文学部、経済科学部、医学部と様々な学部が所属しています。

活動のきっかけ

- * 同年代以外と交流できるのはいい刺激になると思った。
- * 子どもと関わる活動がしたかった。
- * 子どもとの心の距離の詰め方や関わる際のポイントを学びたかった。

子どもに関わるボランティアを行っていたことや、演劇にも興味があった。コロナ禍で友達を作る機会もなく不安だったが、「どーけん」の先輩方の優しく穏やかな雰囲気に安心できたから入部を決めた。

活動について

子どもたちの笑顔を見るのがモチベーション！
公民館・児童館の方々とのコミュニケーションも非常に有意義。子どもたちだけでなく大人との関わりも大切になる点が児童文化研究部の良さ。



課題

部として
人数不足！例年通りの活動を十分に行うことができない状態。人形劇・児童劇・立体童話などの演劇を後輩たちに引き継いでいくためにも、今後新入生の呼び込みを強化したい。

いかに子どもたちと一緒に遊びを楽しめるか！
子どもたちが心置きなく楽しめるように、まずは私自身が子どもたちと楽しむことを頑張りたい。

これからのこと

- * 子どもたち一人ひとりの個性や性格に合った何かをしてみたい。
- * 伝統の活動「行脚」の再開熱望
- * 先輩たちのように子ども目線で考えられる公演を作り上げたい。
- * コロナが終息したら、もっと多くの子ども達と遊びたい！

* 他の人の視点に立って物事を考え、協働していく姿勢を社会で活かしたい。

「スーキャット」さん
「どーけん」さん
インタビューへのご協力有難うございました。



母校と地域が100年先まで笑顔でつながって欲しいから、今！

新潟国際情報大学 ボランティアサークル「スーキャット」

代表の津村さんが新潟国際情報大学と地元・赤塚のかかわりを深めたいと思ったことがきっかけで、今年度発足したサークルです。現在、赤塚地区で開催している「あかつきりんカフェ」で、放課後小学生と一緒に遊んだり、宿題を見守ったり楽しい時間を過ごしています。様々な学部から集まった1年3人、2年1人、3年6人の合計10名で活動中！

この活動を始めたきっかけは？

- 小学生のみんなに多世代交流の楽しさを感じてもらいたかった。
- 自分のボランティア経験が、このサークルで何か役に立てばと思った。

子どもと関わる何かがあった。人と関わるのが好きだから。

今年度達成できたことは？

コロナ禍にもかかわらず、実現したかった活動を十分にできていたこと。

★ 1年生のころからやりたかった活動をやっとな実現できたこと。

現在の課題は？

- 周りをもっと見ること。 ※ コロナの影響が以前より大きい。
- もっと活動に慣れていくこと。 これからどう活動していくか。

今後の目標は？

※ 健康に気を付けながら、みんなで楽しむこと。

- 新潟国際情報大学の他のサークルとのコラボ。
- 大学と地域をつなぐという目標に近づくために活動の幅を広げたい。

社会に出た時に活かせると思うことは？

- 周りを見るチカラ。
- コミュニケーション能力。

多くの大人の方に助けをもらいながら活動を始め、続けていられているのでそういった社会人の方との接し方なども今後活かせることだと思う。

